

グループ通算の達人(令和04年度版 以降)

fromTACTiCS財務26 運用ガイド

この度は、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務26」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務26」は、全国税理士データ通信協同組合連合会の「TACTiCS財務」の会計データを「グループ通算の達人 [個社処理用]」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務26」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
1.「達人Cube」からアップデートする場合	5
2.「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合	11
2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を別のコンピュータにインストールしている場合	12
5.操作方法	13
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合	13
2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人〔個社処理用〕」を別のコンピュータにインストールしている場合	21
6.連動対象項目	32
「TACTiCS財務」から連動するデータ（連動元）	32
「グループ通算の達人〔個社処理用〕」に連動するデータ（連動先）	33
貸借対照表	34
損益計算書	35
製造原価報告書	36
株主資本等変動計算書	37
個別注記表	38
入力用帳票〔六（一）・八（一）〕	39
別表十四（二）	40
別表十五	41
7.アンインストール方法	42
8.著作権・免責等に関する注意事項	43

1.対応製品

「グループ通算の達人(令和04年度版以降)fromTACTiCS財務26」に対応するNTTデータの対応製品及び全国税理士データ通信協同組合連合会の対応製品は以下のとおりです。

会社名	対応製品
株式会社NTTデータ	グループ通算の達人(令和07年度版)[個社処理用] Professional Edition
全国税理士データ通信協同組合連合会	TACTiCS財務26



注意

本書は、出版時点での最新プログラムの対応製品で記載しています。

2.動作環境

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」に必要な動作環境は「1.対応製品」（P.3）に記載の全国税理士データ通信協同組合連合会の〔対応製品〕と同様です。



注意

- 「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」（P.3）に記載の全国税理士データ通信協同組合連合会の〔対応製品〕をインストールしている必要があります。
- 「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」の起動中に、「TACTiCS財務」の起動、及びアンインストールはできません。

3.インストール方法

「グループ通算の達人(令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務26」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。

1.「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



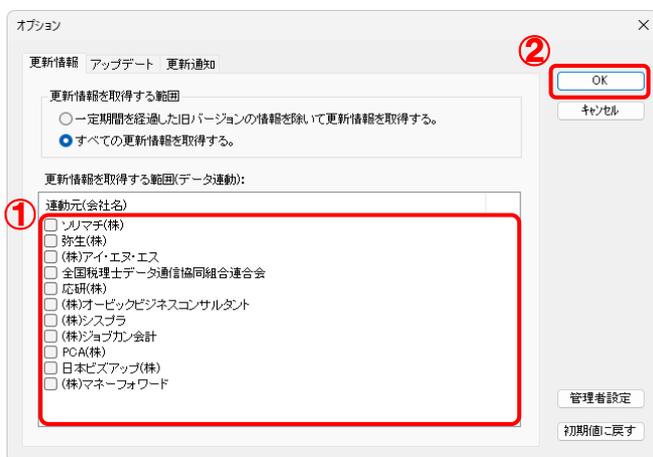
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



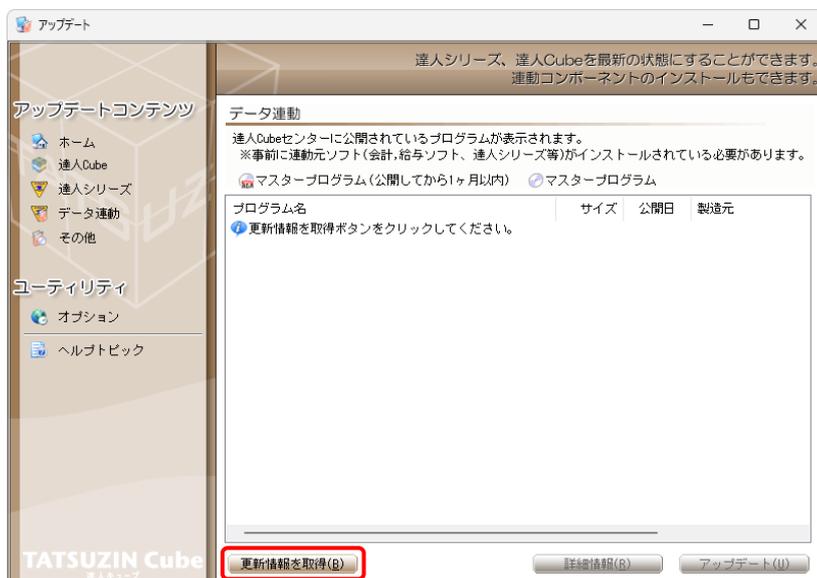
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



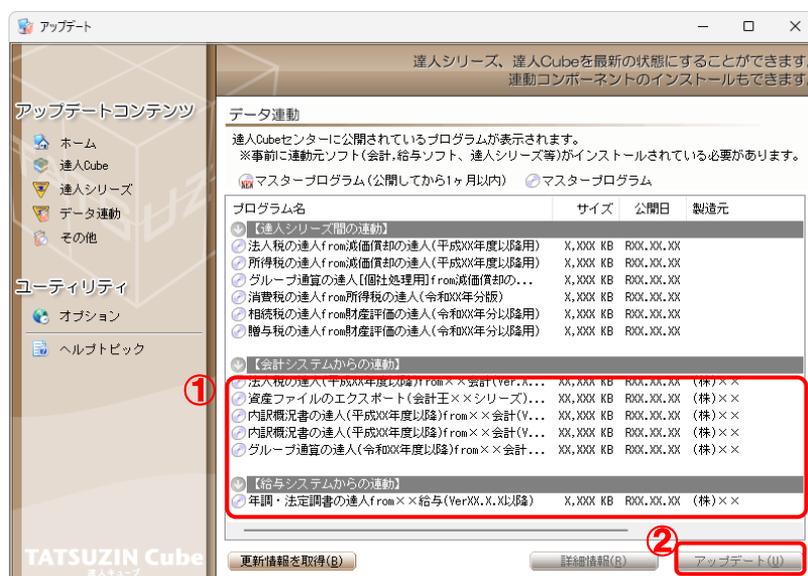
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

7. [はい]ボタンをクリックします。

[セットアップ] 画面が表示されます。

8. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の指定] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックします。

9. インストール先のフォルダーを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール準備完了] 画面が表示されます。

10. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

11. [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務26」のインストールは完了です。

2.「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動コンポーネントダウンロードページ

(https://www.tatsuzin.info/rendousoft/rendou_download.html)を開きます。



2. 該当の「達人シリーズ」のソフト名をクリックします。

該当の会計・給与ソフトメーカー一覧画面が表示されます。

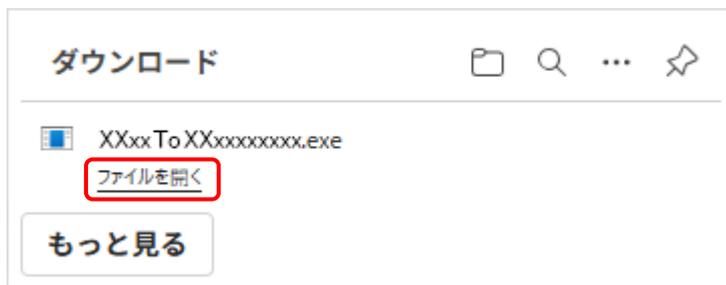
3. 該当の会計・給与ソフトメーカーの[ダウンロード]をクリックします。

該当の会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。

4. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。

画面の右上に [ダウンロード] 画面が表示されます。

5. [ファイルを開く]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

6. [はい]ボタンをクリックします。

[セットアップ] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の指定] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックします。

8. インストール先のフォルダーを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール準備完了] 画面が表示されます。

9. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. [セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務26」のインストールは完了です。

4.運用方法

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」は、「TACTiCS財務」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を同一コンピューターにインストールしているかどうかで異なります。

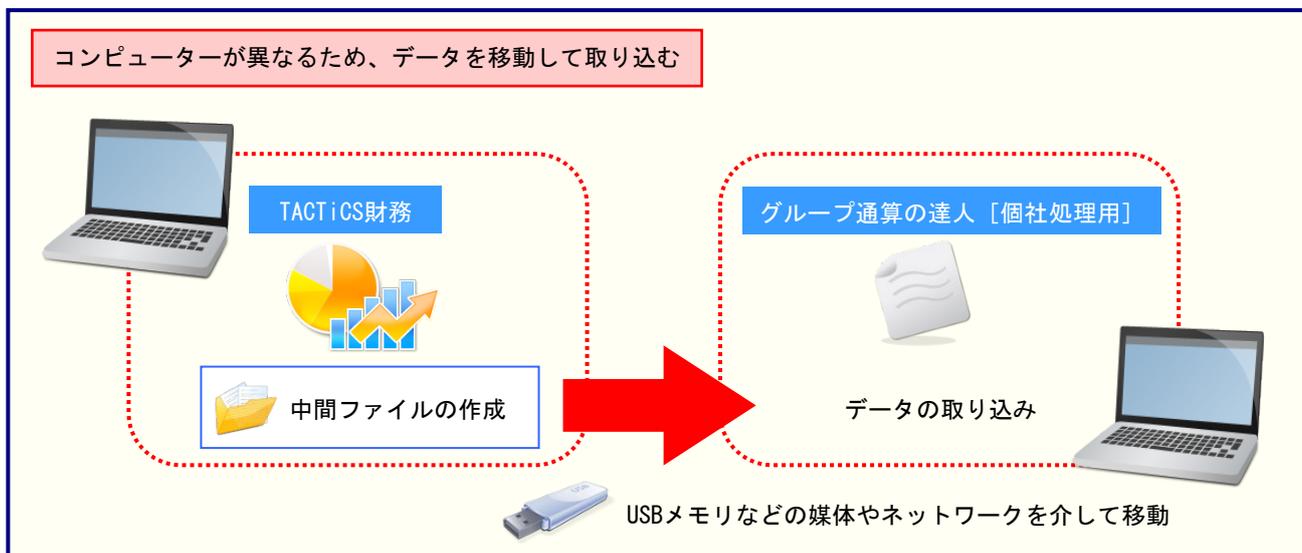
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を同一コンピューターにインストールしている場合

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」で作成した中間ファイルを直接「グループ通算の達人 [個社処理用]」に取り込みます。



2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を別のコンピューターにインストールしている場合

「TACTiCS財務」をインストールしているコンピューターで中間ファイルを作成し、「グループ通算の達人 [個社処理用]」をインストールしているコンピューターで取り込みます。



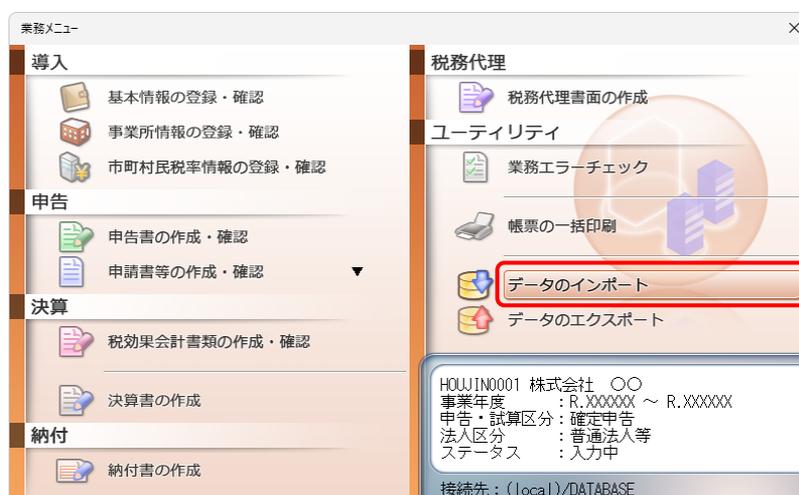
5.操作方法

「グループ通算の達人（令和04年度版以降）fromTACTiCS財務26」を使って、以下の手順で連動します。事前に「6.連動対象項目」（P.32）を必ずお読みください。

操作手順は、「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人 [個社処理用]」を同一コンピューターにインストールしているかどうかで異なります。

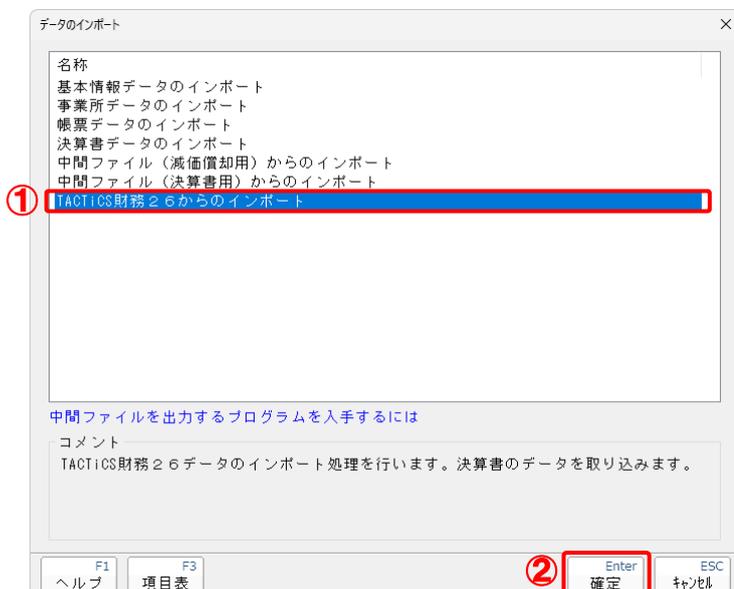
1.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を同一コンピューターにインストールしている場合

1. 「グループ通算の達人[個社処理用]」を起動してデータを取り込む事業者データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



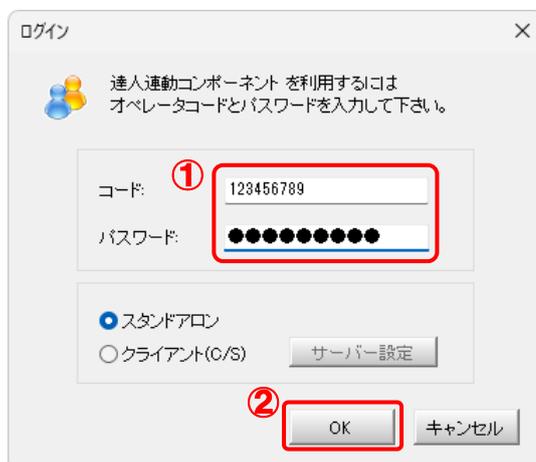
[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [TACTiCS財務26からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[ログイン] 画面が表示されます。

3. 「TACTiCS財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



[グループ通算の達人 (令和04年度版 以降) fromTACTiCS財務26] 画面が表示されます。

4. [次へ]ボタンをクリックします。



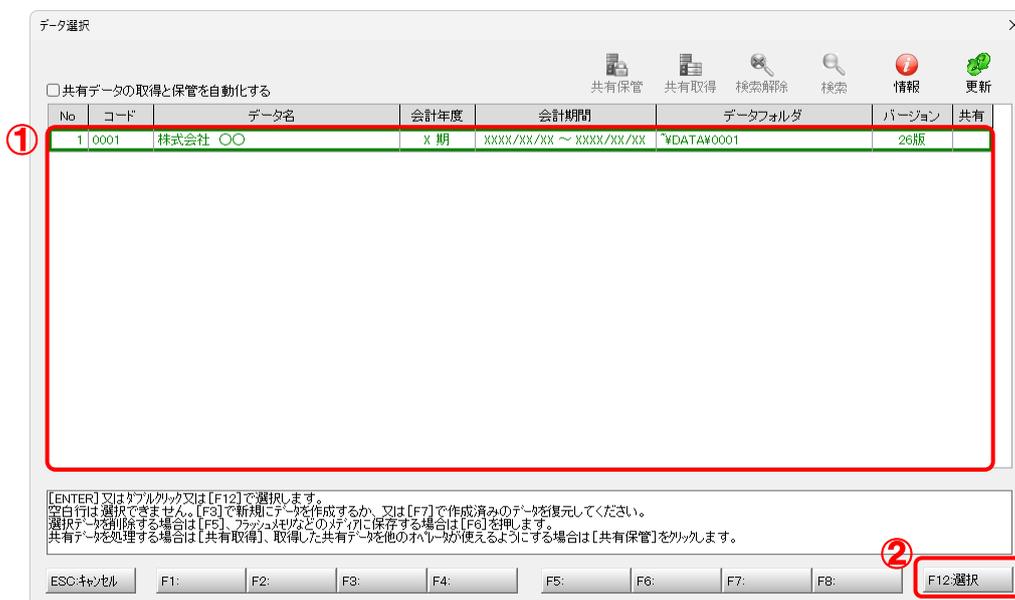
対象データの指定画面が表示されます。

5. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



[データ選択] 画面が表示されます。

6. 「グループ通算の達人[個社処理用]」に取り込む「TACTiCS財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12:選択]ボタンをクリックします(②)。



対象データの指定画面に戻ります。

7. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



計算条件の指定画面が表示されます。

8. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版以降) from TACTiCS財務26

計算条件を指定してください。

① 計算対象期間

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

期首月～6ヶ月目までを選ぶと上期、7ヶ月日以降を選ぶと通期として処理します。

消費税計算区分

税込み 税抜き

計算条件が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

< 戻る(B) ② 次へ(N) > キャンセル

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

9. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版以降) from TACTiCS財務26

株主資本等変動計算書を作成する

株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

[勘定科目]

TACTiCS財務26の印刷名称	法人税の達人で使用する勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 独自科目 ※※
資本準備金	資本準備金
資本金・資本準備金減少差益	※※ 独自科目 ※※
自己株式処分差益	※※ 独自科目 ※※

[変動事由]

TACTiCS財務26の変動事由	法人税の達人で使用する変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 独自事由 ※※
当期純利益	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

設定方法について:
 ①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択ダイアログ」が開きます。
 ②「選択ダイアログ」のリストより対象項目を選んでください。

設定した項目の削除について:
 ①削除したい項目行で[Delete]キーを押しください。

総勘定元帳を作成する

以上の設定でよろしければ、[次へ]をクリックしてください。

< 戻る(B) **②** 次へ(N) > キャンセル

確認画面が表示されます。

- ※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。
- ※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

10. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版以降) from TACTiCS財務26

以上で設定が完了しました。
内容を確認し、よろしければ[完了]をクリックしてください。

①

【連動元情報】
会社名 : 株式会社 ○○
会計年度 : X 期
会計期間 : XXXX年XX月XX日 ~ XXXX年XX月XX日

【計算条件】
計算対象期間 : XXXX年XX月 ~ XX年XX月
消費税計算区分: 税込み

【制約事項】
1) 法人決算書>個別注記表タブ>テンプレートで「連動連動」選択時に限り、個別注記表の連動を行います。

②

<戻る(B) 完了(E) キャンセル

[インポート対象設定] 画面が表示されます。

11. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

インポート対象設定

①

帳票名	項目名
<input checked="" type="checkbox"/>	決算書
<input checked="" type="checkbox"/>	貸借対照表
<input checked="" type="checkbox"/>	損益計算書
<input checked="" type="checkbox"/>	製造原価報告書
<input checked="" type="checkbox"/>	株主資本等変動計算書
<input checked="" type="checkbox"/>	個別注記表

■決算書の設定

業種パターン設定
業種
一般商工業

貸借対照表の個別表示パターン設定

1. 流動資産	3. 投資その他の資産
貸倒引当金	貸倒引当金
科目別控除	科目別控除
2. 有形固定資産	
<input checked="" type="radio"/> 減価償却累計額	<input checked="" type="radio"/> 減価償却累計額
科目別控除	科目別控除
減損損失累計額	減損損失累計額
科目別控除	科目別控除
<input type="radio"/> 減価償却累計額及び減損損失累計額	<input type="radio"/> 減価償却累計額及び減損損失累計額
科目別控除	科目別控除

損益計算書の個別表示パターン設定

1. 売上高	3. 販売費及び一般管理費
一括掲記	費目別掲記
2. 売上原価	
期首商品たな卸高、当期商品仕入高、期末商品棚卸高の区分掲記	

②

F1 ヘルプ F5 選択 F6 新規登録 F7 削除 F8 確認 F9 初期値 F11 全選択 Enter 実行 ESC キャンセル

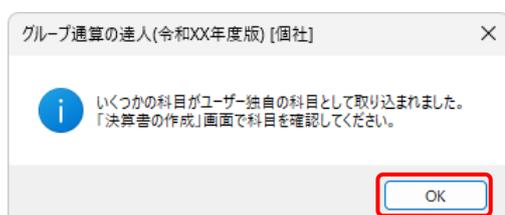
インポートの確認メッセージが表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



取り込みの確認メッセージが表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「グループ通算の達人 [個社処理用]」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

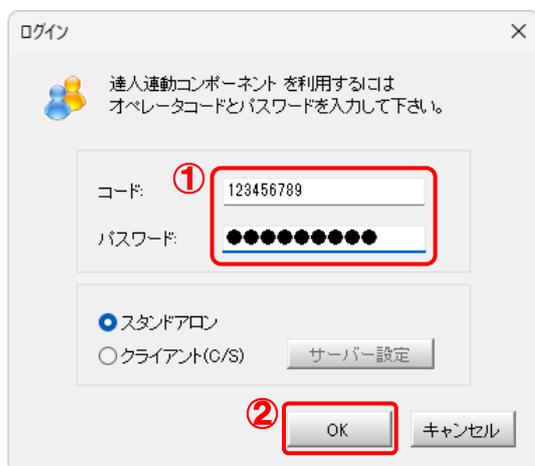
連動後には、「グループ通算の達人 [個社処理用]」側で科目の取り込み設定を行う必要があります。操作手順については『[グループ通算の達人 \[個社処理用\] 運用ガイド](#)』－「帳票の作成」－「決算書の作成」－「科目の割当設定を行う」をご確認ください。

2.「TACTiCS財務」と「グループ通算の達人[個社処理用]」を別のコンピューターにインストールしている場合

1. Windowsのスタートメニュー右横の検索ボックスに、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務26」と入力して表示される検索結果から、「グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromキーパー財務26」をクリックします。

[ログイン] 画面が表示されます。

2. 「TACTiCS財務」で登録したオペレータコードとパスワードを入力し(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



[グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務26]画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



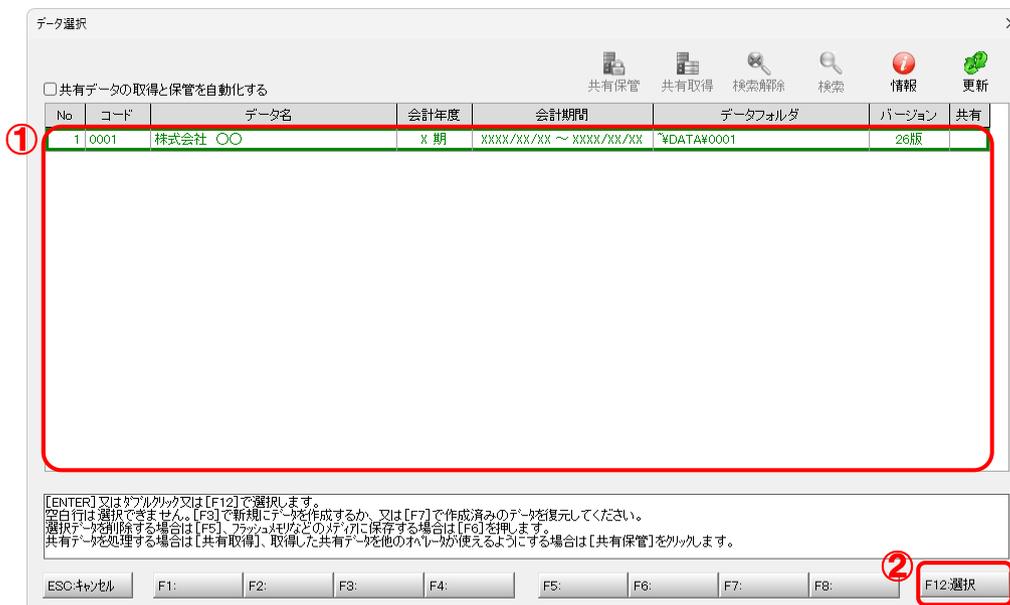
対象データの指定画面が表示されます。

4. [データ選択を開く]ボタンをクリックします。



[データ選択] 画面が表示されます。

5. 「グループ通算の達人[個社処理用]」に取り込む「TACTiCS財務」のデータをクリックして選択し(①)、[F12:選択]ボタンをクリックします(②)。



対象データの指定画面に戻ります。

6. 対象データを確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



計算条件の指定画面が表示されます。

7. 計算条件を指定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

株主資本等変動計算書情報の設定画面が表示されます。

8. 株主資本等変動計算書の情報を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版以降) from TACTiCS財務26

株主資本等変動計算書を作成する

株主資本等変動計算書で使用する勘定科目と変動事由の割り当てを設定します。

[勘定科目]

TACTiCS財務26の印刷名称	法人税の達人で使用する勘定科目
資本金	資本金
新株式申込証拠金	※※ 独自科目 ※※
資本準備金	資本準備金
資本金・資本準備金減少差益	※※ 独自科目 ※※
自己株式処分差益	※※ 独自科目 ※※

[変動事由]

TACTiCS財務26の変動事由	法人税の達人で使用する変動事由
新株の発行	新株の発行
剰余金の配当	剰余金の配当
剰余金の配当に伴う積立	※※ 独自事由 ※※
当期純利益	当期純利益
自己株式の処分	自己株式の処分

設定方法について:
①設定したい項目行でマウスをダブルクリックすると「選択ダイアログ」が開きます。
②「選択ダイアログ」のリストより対象項目を選んでください。

設定した項目の削除について:
①削除したい項目行で[Delete]キーを押してください。

総勘定元帳を作成する

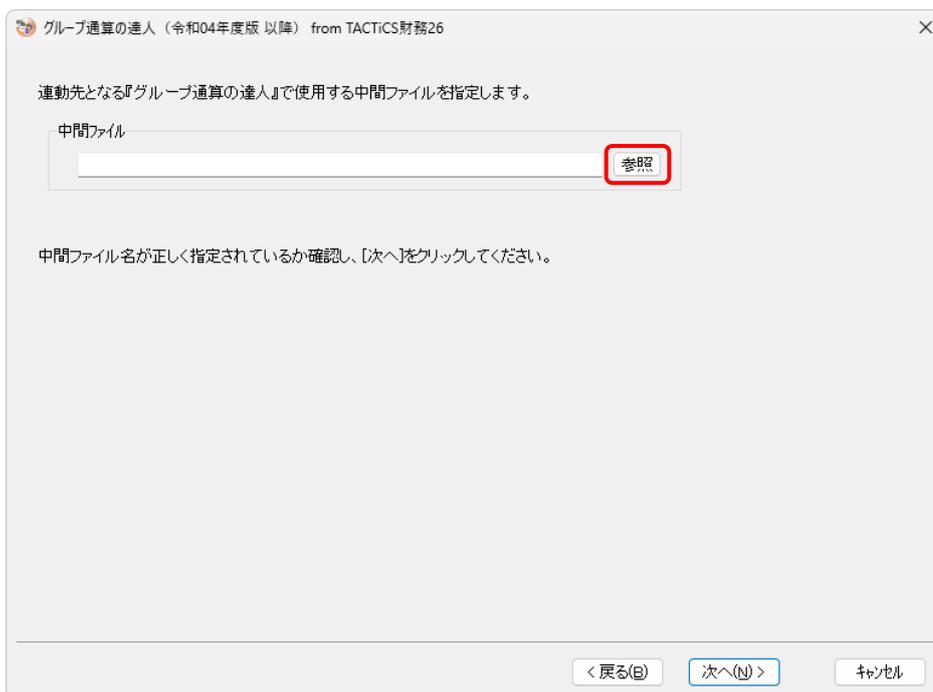
以上の設定でよろしければ、[次へ]をクリックしてください。

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

中間ファイルの指定画面が表示されます。

- ※ 全ての勘定科目と変動事由の割り当てが完了していないと先に進めません。
- ※ 達人側に受け渡しを行わない項目は、項目行をダブルクリックして表示される「使用できる勘定科目／変動事由」画面で、最下行の「※※ 割り当てしない ※※」をクリックして選択します。

9. [参照]ボタンをクリックします。



[中間ファイルの指定] 画面が表示されます。

10. [保存する場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。



中間ファイルの指定画面に戻ります。

※ 出力先のファイル拡張子には xml を指定してください。

11. [中間ファイル]を確認し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版以降) from TACTiCS財務26

連動先となる『グループ通算の達人』で使用する中間ファイル指定します。

中間ファイル

① C:\Users\tatsuzin\Desktop\株式会社 〇〇.xml

参照

中間ファイル名が正しく指定されているか確認し、[次へ]をクリックしてください。

< 戻る(B) ② 次へ(N) > キャンセル

確認画面が表示されます。

12. 内容を確認し(①)、[完了]ボタンをクリックします(②)。

グループ通算の達人 (令和04年度版以降) from TACTiCS財務26

以上で設定が完了しました。内容を確認し、よろしければ[完了]をクリックしてください。

①

【連動元情報】
会社名 : 株式会社 〇〇
会計年度 : X 期
会計期間 : XXXX年XX月XX日 ~ XXXX年XX月XX日

【計算条件】
計算対象期間 : XXXX年XX月 ~ XX年XX月
消費税計算区分: 税込み

【中間ファイル】
C:\Users\tatsuzin\Desktop\株式会社 〇〇.xml

【制約事項】
1) 法人決算書>個別注記表タブ>テンプレートで「連動連動」選択時に限り、個別注記表の連動を行います。

< 戻る(B) ② 完了(F) キャンセル

終了画面が表示されます。

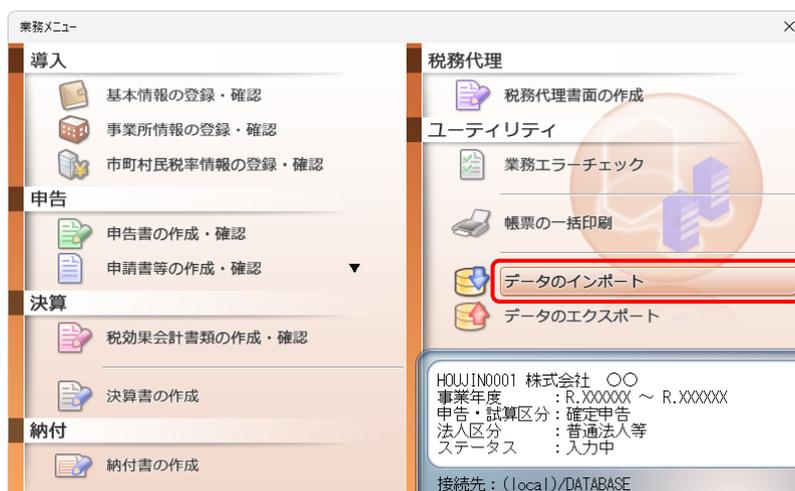
13. [OK]ボタンをクリックします。



手順10で指定した [保存する場所] に、中間ファイルが作成されます。

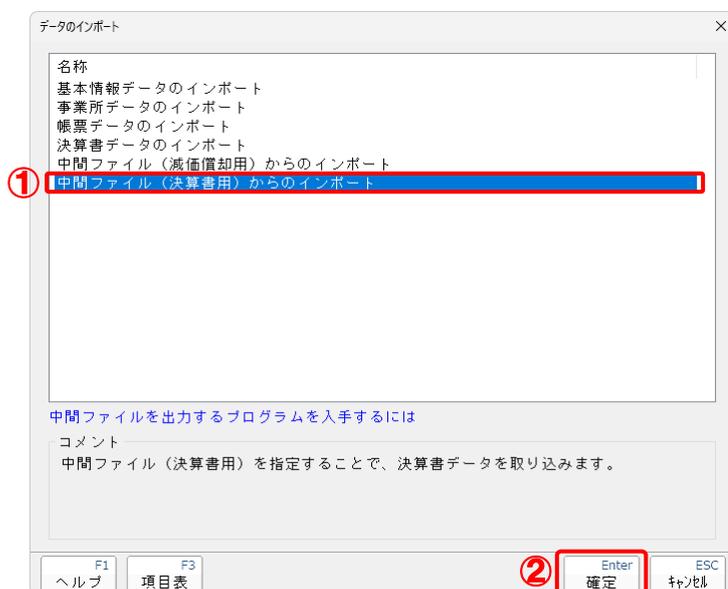
14. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「グループ通算の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピューターに移動します。

15. 「グループ通算の達人[個社処理用]」を起動して中間ファイルを取り込む事業者データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



[データのインポート] 画面が表示されます。

16. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。

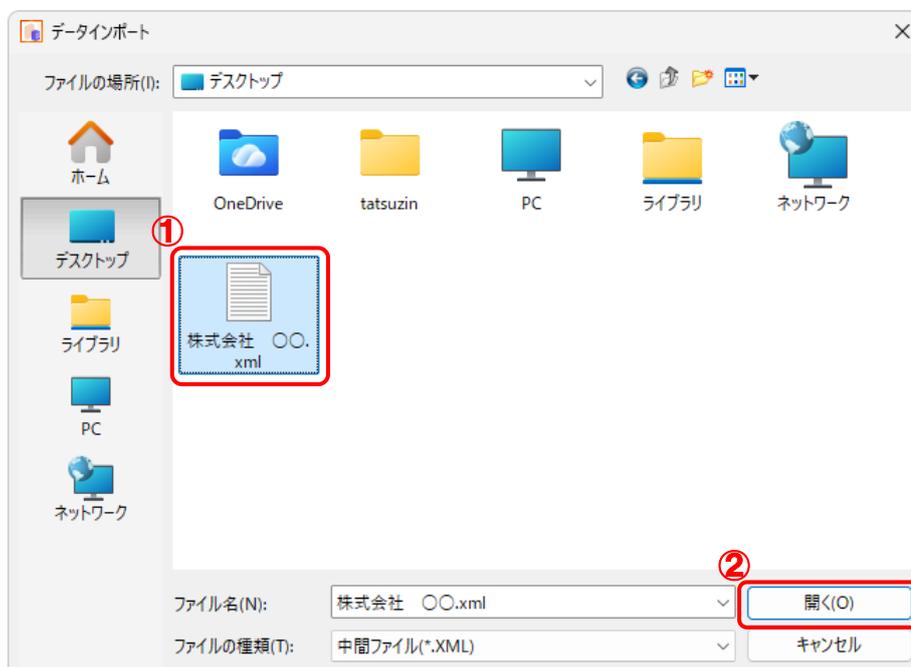


[データインポート] 画面が表示されます。

※ [インポート対象格納先] 画面は、達人Cube「データ収集・配信」ご契約の方のみ表示されます。[PC等] を選択し (①)、[確定] ボタンをクリックします (②)。

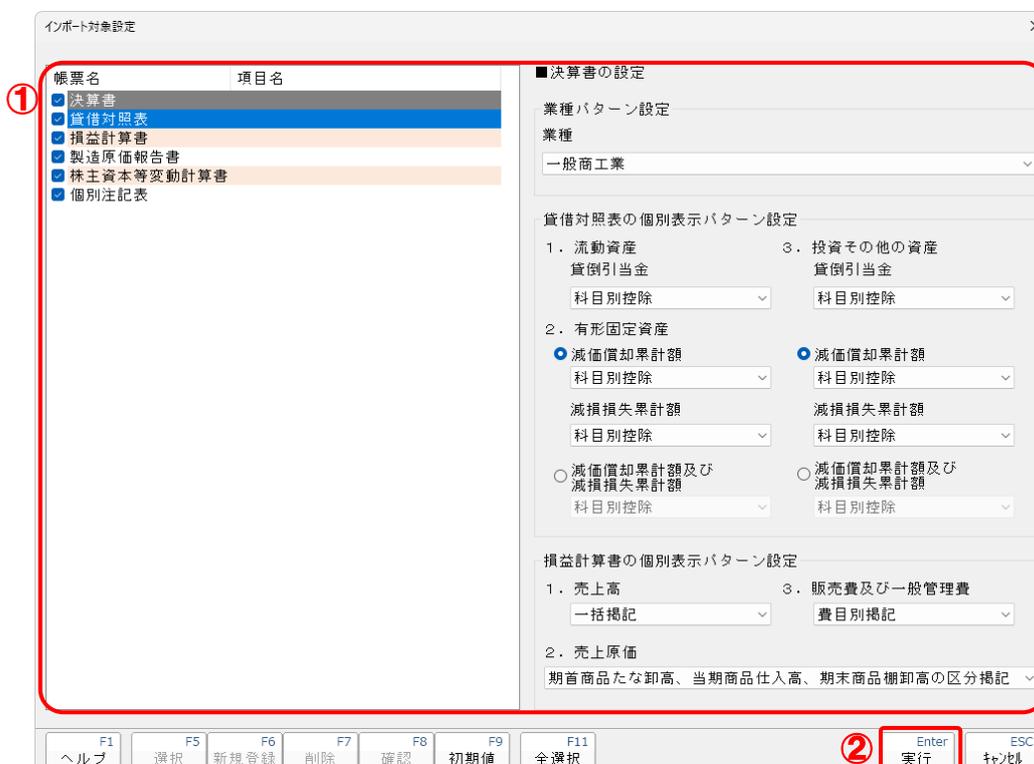


17. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



[インポート対象設定] 画面が表示されます。

18. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。



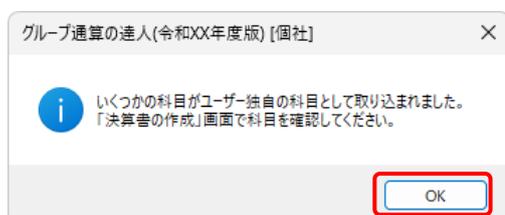
インポートの確認メッセージが表示されます。

19. [OK]ボタンをクリックします。



取り込みの確認メッセージが表示されます。

20. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

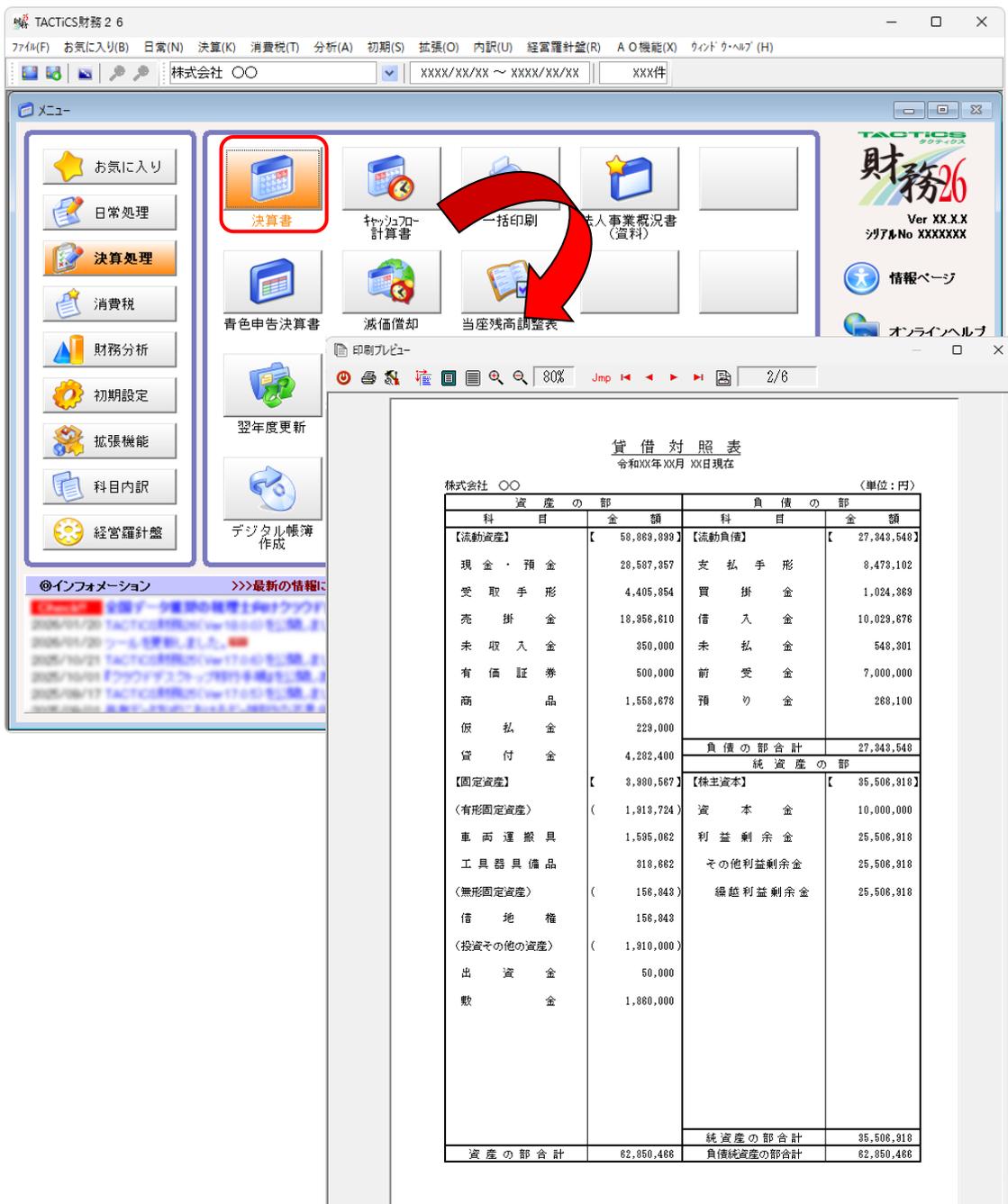
連動後には、「グループ通算の達人 [個社処理用]」側で科目の取り込み設定を行う必要があります。操作手順については『[グループ通算の達人 \[個社処理用\] 運用ガイド](#)』－「帳票の作成」－「決算書の作成」－「科目の割当設定を行う」をご確認ください。

6.連動対象項目

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」では、「TACTiCS財務」の決算書よりデータを取り込みます。

「TACTiCS財務」から連動するデータ(連動元)

「TACTiCS財務」からはメニュー [決算処理] - [決算書] のデータが連動します。



The screenshot shows the TACTiCS財務26 application window. The '決算書' (Financial Statement) menu item is highlighted with a red box. A red arrow points from this menu item to a preview window titled '印刷プレビュー' (Print Preview) showing a '貸借対照表' (Balance Sheet) for the current period.

貸借対照表
令和XX年XX月 XX日現在
株式会社 ○○ (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	50,869,898	【流動負債】	27,948,648
現金・預金	28,587,957	支払手形	8,478,102
受取手形	4,405,954	買掛金	1,024,969
売掛金	18,958,810	借入金	10,029,876
未収入金	350,000	未払金	548,301
有価証券	500,000	前受金	7,000,000
商品	1,558,878	預り金	268,100
仮払金	229,000		
貸付金	4,282,400	負債の部合計	27,948,648
【固定資産】	3,980,587	純資産の部	
(有形固定資産)	(1,919,724)	【株主資本】	35,506,918
車両運搬具	1,595,062	資本金	10,000,000
工具器具備品	318,662	利益剰余金	25,506,918
(無形固定資産)	(158,843)	その他利益剰余金	25,506,918
借地権	158,843	繰越利益剰余金	25,506,918
(投資その他の資産)	(1,910,000)		
出資金	50,000		
敷金	1,860,000	純資産の部合計	35,506,918
資産の部合計	62,850,486	負債純資産の部合計	62,850,486

「グループ通算の達人[個社処理用]」に連動するデータ(連動先)

「グループ通算の達人[個社処理用]」に連動するデータは以下のとおりです。次ページ以降の各画面の太枠部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書
株主資本等変動計算書
個別注記表



注意

「個別注記表」は、「TACTiCS財務」の[法人決算書]画面－[個別注記表]タブ－[テンプレート]で[達人連動]を選択している場合のみ連動対象となります。

申告書

入力用帳票 [六(一)・八(一)]
別表十四(二)
別表十五



参考

インポート・エクスポート可能な項目の詳細については、「達人」公式サイト「グループ通算の達人」のページで、以下の項目をご確認ください。

[参照]  「インポート機能で帳票の作成にかかる時間を削減」
(https://www.tatsuzin.info/products_gt/)

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

注記事項	設定内容	e-Taxで使用する科目
会計指針		会計指針
継続企業の前提に関する注記		継続企業の前提に関する注記
重要な会計方針に係る事項に関する注記		重要な会計方針に係る事項...
貸借対照表に関する注記		貸借対照表に関する注記
損益計算書に関する注記		損益計算書に関する注記
株主資本等変動計算書に関する注記		株主資本等変動計算書に関...
税効果会計に関する注記		税効果会計に関する注記
リースにより使用する固定資産に関する注記		リースにより使用する固定...
関連当事者との取引に関する注記		関連当事者との取引に関す...
1株当たり情報に関する注記		1株当たり情報に関する注記
重要な後発事象に関する注記		重要な後発事象に関する注記
連結配当規制適用会社に関する注記		連結配当規制適用会社に関...
その他の注記		その他の注記

: ユーザーが独自に追加した科目等
 ユーザーが独自に追加した科目のみ表示する

ヘルプ (F1)
 閉じる (F2)
 フィルタ (F3)
 利益処分 (F4)
 全計算 (F5)
 科目追加 (F6)
 科目削除 (F7)
 割当削除 (F8)
 印刷 (F9)
 割当設定 (F11)
 漢字 (F12)

Enter 選択

入力用帳票[六(一)・八(一)]

所得税額・受取配当等計算シート		事業年度	法人名
1. 預貯金等の利子			
銀行名	1		
支払いを受けた年月日	2
手取額	3	円	円
税率	4	%	%
所得税額	5	円	円
収入金額	6	円	円
2. 受取配当等			
所得税控除計算区分		剰余金の配当、利益の配当及び剰余金の分配	剰余金の配当、利益の配当及び剰余金の分配
計算期間【1年超】		7	8
計算期間【1年以内】			9
別表六(一)控除を受ける所得税額			
受取配当等の明細			
保 法人名又は銘柄	10		
有 支払いを受けた年月日	11
有 株式等区分	12		
価 所得税額控除区分	13		
証 本店の所在地	14		
算 計基準日	15
期 計算期間の月数	16	月	月
間 配当等の計算期間	17
保 保有割合	18		
受 手取額	19	円	円
取 税率	20	%	%
配 所得税額	21	円	円
当 収入金額	22	円	円
等 配当等の計算期首における所有元本数等	23		
の 配当等の計算期末における所有元本数等	24		
額 配当等の計算期間の期末より1か月前の所有株数	25		
元 配当等の計算期間の期末以前1か月以内の取得株数	26		
本 配当等の計算期間の期末後2か月以内の取得株数	27		
数 配当等の計算期間の期末後2か月以内の譲渡株数	28		
等 短期所有株式数等	29		
の 計算	30	円	円
計 算			
所得税額控除の個別法による場合の計算			
個 所有期間の異なる月数ごとの期末における所有元本数等	31		
別 所有期間の月数	32	月	月
法 収入金額	33	円	円
	34	円	円

別表十四(二)

寄附金の損金算入に関する明細書		事業年度	法人名	別表十四(二)				
公益法人等以外の法人の場合			公益法人等の場合					
一般寄附金の損金算入限度額の計算	支出した寄附金の額	1	円	損金算入の額の計算	支出した寄附金の額	25	円	
	指定寄附金等の金額(41の計)	1			長期給付事業への繰入利子額	25		
	特定公益増進法人等に対する寄附金額(42の計)	2			同上以外のみなし寄附金額	26		
	その他の寄附金額	3			その他の寄附金額	27		
	計(1)+(2)+(3)	4			計(25)+(26)+(27)	28		
	完全支配関係がある法人に対する寄附金額	5			所得金額仮計(別表四「26の①」)	29		
	計(4)+(5)	6			寄附金支出前所得金額(28)+(29)	30		
	所得金額仮計(別表四「26の①」)	7			同上の $\frac{20}{100}$ 相当額	31		
	寄附金支出前所得金額(6)+(7)	8			公益社団法人又は公益財団法人の公益法人特別限度額(別表十四(二)付表「3」)	32		
	同上の $\frac{2.5}{100}$ 相当額	9			長期給付事業を行う共済組合等の損金算入限度額(28)と算出額の半(27)のどちらか金額)	33		
	期末の資本金の額及び資本準備金の額の合計額又は出資金の額(別表五「1」32の④)+(33の④))	10			損金算入限度額(30)-(32)又は(30)-(33)	34		
	同上の月数換算額(10)× $\frac{12}{12}$	11			指定寄附金等の金額(41の計)	35		
	同上の $\frac{2.5}{1,000}$ 相当額	12			国外関連者に対する寄附金額及び完全支配関係がある法人に対する寄附金額	36		
一般寄附金の損金算入限度額(9)+(12)× $\frac{1}{4}$	13		(28)の寄附金額のうち同上の寄附金以外の寄附金額(28)-(36)	37				
寄附金支出前所得金額の $\frac{5.25}{100}$ 相当額(8)× $\frac{5.25}{100}$	14		同上のうち損金の額に算入されない金額(37)-(34)-(36)	38				
寄附金の額及び資本準備金の額の合計額又は出資金の額(別表五「1」32の④)-(14)× $\frac{1}{4}$	15		国外関連者に対する寄附金額及び完全支配関係がある法人に対する寄附金額(36)	39				
特定公益増進法人等に対する寄附金の特別損金算入限度額((14)+(15)× $\frac{1}{4}$)	16		計(38)+(39)	40				
特定公益増進法人等に対する寄附金の損金算入額((12)と(14)又は(16)のうち少ない金額)	17							
指定寄附金等の金額(1)	18							
国外関連者に対する寄附金額及び本店等に対する内部寄附金額(4)の寄附金額のうち同上の寄附金以外の寄附金額(4)-(19)	19							
同上のうち損金の額に算入されない金額(20)-(19)又は(13)-(17)-(18)	20							
国外関連者に対する寄附金額及び本店等に対する内部寄附金額(19)	21							
完全支配関係がある法人に対する寄附金額(5)	22							
計(21)+(22)+(23)	24							
指定寄附金等に関する明細								
寄附した日	寄附先	告示番号	寄附金の使途	寄附金額				
				41	円			
計								
特定公益増進法人若しくは認定特定非営利活動法人等に対する寄附金又は認定特定公益信託に対する支出金の明細								
寄附した日又は支出した日	寄附先又は受託者	所在地	寄附金の使途又は認定特定公益信託の名称	寄附金額又は支出金額				
				42	円			
計								
その他の寄附金のうち特定公益信託(認定特定公益信託を除く。)に対する支出金の明細								
支出した日	受託者	所在地	特定公益信託の名称	支出金額	円			
計								

合七・四・一 以後終了事業年度分

別表十五

交際費等の損金算入に関する明細書				事業年度	法人名
支出交際費等の額 (8の計)	1	円	損金算入限度額 (2)又は(3)	4	円
支出接待飲食費損金算入基準額 (9の計)× $\frac{50}{100}$	2		損金不算入額 (1)-(4)	5	
中小法人等の定額控除限度額 (1)と $(800万円 \times \frac{12}{12})$ のうちの少ない金額	3				
支出交際費等の額の明細					
科 目	支 出 額		差引交際費等の額		(8)のうち接待飲食費の額
	6	7	8	9	
交 際 費	円	円	円	円	
計					

別表十五
合七・四・一
以後終了事業年度分

7.アンインストール方法

「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」をコンピューターからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されることがあります。その場合は [はい] ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

- 1. Windowsのスタートメニュー右横の検索ボックスに、「コントロールパネル」と入力して表示される検索結果から[コントロールパネル]をクリックします。**
[コントロールパネル] 画面が表示されます。
- 2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。**
[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。
※ [コントロールパネル] 画面をアイコン表示にしている場合は、[プログラムと機能] をクリックします。
- 3. [グループ通算の達人(令和04年度版 以降)fromTACTiCS財務26]をクリックして選択し、[アンインストール]をクリックします。**
確認画面が表示されます。
- 4. [はい]ボタンをクリックします。**
終了画面が表示されます。
- 5. [OK]ボタンをクリックします。**

以上で、「グループ通算の達人（令和04年度版 以降）fromTACTiCS財務26」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- 「グループ通算の達人(令和04年度版以降)fromTACTiCS財務26」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権は全国税理士データ通信協同組合連合会に帰属するものとします。
- 「グループ通算の達人(令和04年度版以降)fromTACTiCS財務26」の複製物(バックアップ・コピー)は、不慮の事故に備えて1部のみ作成することができます。
- 「グループ通算の達人(令和04年度版以降)fromTACTiCS財務26」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及び全国税理士データ通信協同組合連合会は一切の賠償の責任を負いません。
- 「グループ通算の達人(令和04年度版以降)fromTACTiCS財務26」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- 「グループ通算の達人(令和04年度版以降)fromTACTiCS財務26」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

グループ通算の達人(令和04年度版 以降)

fromTACTiCS財務26 運用ガイド

2026年2月21日初版